# 甲運小だより

第１４号
令和２年２月４日

甲府市立甲運小学校
発行責任者　篠原　弘一

カラーでご覧になりたい
方は右の QR コードから
甲運小学校のホームページへ

## ３学期学級役員を任命しました。

がんばってください！

１月２０日（月）に３学期学級役員の任命式を行いました。３学期は，約５０日と短いですが，まとめと新しいスタートへむけて大切な学期です。この時間が，すてきな時間になるように，学級役員さんを中心に，クラス一丸となってがんばってほしいと思います。

## 東中学校の学校紹介を行いました。

１月２４日（金）に昨年度，甲運小学校を卒業した生徒による，東中学校の学校紹介がありました。久しぶりにみる卒業生は，制服も似合う素敵な中学生になっていました。スライドを使ったり，クイズを入れたりしながら，もうすぐ中学校に進学する６年生に，東中学校の良さが伝わるように張り切って伝えようとしていました。６年生にとっては，これから一つ一つの行事が卒業へ，そして中学校入学に向けての時間になります。しっかりと，考えながら取り組んで欲しいと思います。

## 新入児保護者説明会を開催しました。

来年度入学予定児童の説明会を３１日に行いました。現在のところ，入学児童数は４６名です。学用品を購入してもらったり，旗振り場所の確認をお願いしたりと，いよいよ入学にむけての準備が始まります。新入児や保護者の皆様が安心して小学校生活がスタートできるように，学校でもしっかり準備していきます。

# 2020年　新しい学習指導要領がスタートします！

**学校で学んだことが，明日，そして将来につながるように，子供の学びが進化します。　その2**

## ○新学習指導要領の実施でめざす学び

「何を学ぶか」だけでなく，「どのように学ぶか」を重視して，学校の授業を改善していきます。そのためのキーワードが「主体的・対話的で深い学び」です。子供たちが学んだ一つ一つの知識がつながり，「わかった」「おもしろい」と思える授業，周りの人たちと共に考え，新しい発見や豊かな発想が生まれる授業などを工夫して，子供たちの資質・能力を育んでいきます。

(1)　「主体的な学び」の視点

学ぶことに興味や関心を持ち，自分の進路や職業などの方向性と関連付けながら，見通しを持って粘り強く取り組み，自己の学習活動を振り返って次につなげるような学びになっているかという視点。

(2)　「対話的な学び」の視点

子供同士が目標を共有し力を合わせて活動をしたり，先生や地域の人との対話や先人の優れた考え方を手掛かりに考え，自分の考えを広げ深めたりするような学びになっているかという視点。

(3)　「深い学び」の視点

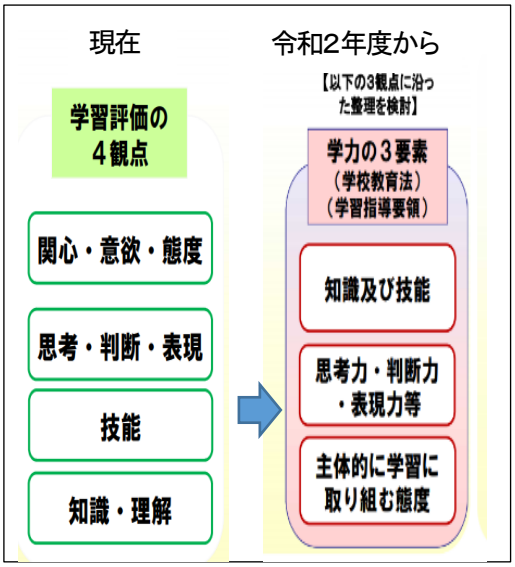
各教科等で，その教科等なりの「見方・考え方」を学ぶだけでなく，様々な教科等で学んだ見方・考え方を相互に関連付け，自分なりに問題を見いだし解決していくような学びになっているかという視点。

## ○評価について

現在**４つの観点**で評価をしていますが，**３つの観点**になります

具体的には，

- 「知識及び技能」の観点では，各教科で身につけるべきとされている知識やスキルについて，十分に習得しているかを見取ります。
- 「思考力・判断力・表現力等」の観点では，各教科教育の中で課題や問題に向き合って解決していく能力や，クラスの仲間と協力しながら問題解決の糸口を見つけていく力を見取ります。また，自らの思いを表現していく力も見取ります。
- 「主体的に学習に取り組む態度」の観点では，児童が，知識及び技能を習得するために，自分自身で学習状況を把握し，学習の進め方や方法等について考えながら，粘り強く学ぼうとしているかという意思的な姿を見取ります。




保護者の皆さまへ

これからは，今までの教育に比べて問題解決能力や主体性，思考力が重視されるようになってきており，その傾向はますます顕著になることが予想されます。子供たちの「生きる力」を育むには，学校での学びを日常生活で活用したり，ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることがとても大切です。新しい学習指導要領の考え方や，子供たちが学校で学んでいることに関して，是非，子供たちと話したり，一緒に考えたりしてみてください。保護者の働きかけがある子供は学力が高いという傾向があります。皆さまの働きかけが，子供たちの「生きる力」を育む力になります。